



あくていぶ21 青木 啓文 議員

1 鈴鹿のまちづくりについて

質問1(1) 地域づくりの組織について、組織の構成メンバー、活動拠点、資金はどのように考えているか。

答弁1(1) 地域づくりの組織として地域づくり協議会の設立を推進しており、自治会等を中心に構成され、公民館が主な活動拠点となっている。資金は協議会設立後に毎年度30万円を限度に補助金を交付。

質問1(2) これまでの公の施設における指定管理者制度の取組経緯と、今後の考え方は。

答弁1(2) 現在39施設において指定管理者による公の施設の管理運営が行われており、制度導入以前と比

べてサービス向上が図られている。今後も民間活力導入手法の一つとして、積極的に活用したい。

質問1(3) 鈴鹿パーキングエリアのスマートインターチェンジ設置について、どのように捉えているか。

答弁1(3) 東名阪自動車道の鈴鹿インターとの相乗効果により、広域交通の連携や強化が図られることが期待され、観光資源を生かしたシティセールスの増進や地域活性化につながる絶好の機会と考えている。

質問1(4) 白子駅前広場整備事業の進捗状況と課題、エントランス機能についての考えはあるのか。

答弁1(4) 一部建築物を除いて実施設計は完了しており、本年度末における事業進捗率は74.5%を予定している。鈴鹿市のエントランス機能を果たす駅前広場となるよう、関係者との協働により充実を図りたい。



緑風会 宮本 正一 議員

1 鈴鹿市エネルギービジョンについて 2 鈴鹿市制70周年記念事業について

質問1 エネルギー基本方針、電気使用契約状況、Suzuka-EMS進捗状況、太陽光発電等について。

答弁1 エネルギー政策は国が計画実施すべきであり、情勢を注視し対応を検討する。電力契約は本年度より特定規模電気事業者契約を実施し昨年比で年間約26万円の経費削減を見込む。23年度の前年比電力使用量削減実績は4.55%で年間3080万円相当の節約効果があった。市が管理する太陽光発電は5か所で70kW。今後は平田野中学校に20kWを設置予定。現在85の遊

難公園にソーラー式照明灯を設置。今後も費用対効果等を考慮し導入を検討する。

質問2 記念事業の効果と第15回鈴鹿シティマラソン事業詳細について。

答弁2 総事業費約3600万円で60周年記念事業とはほぼ同額で計画。8月末時点で32の事業が実施され今後のまちづくりや元気につながると考えている。シティマラソンは鈴鹿サーキットを中心に一般道路を走るハーフマラソンや青少年の森を歩くウォーキングなどを追加する。体験型イベントも開催し、シティセールスを意識した大会とする。観光庁をはじめ各種団体に後援等いただき円滑な大会運営に努めるとともに、体育振興会や一般ボランティアにも協力をお願いしたい。本市の活性化にも貢献していると考えており、今後も鈴鹿の特色を活かしていきたい。



あくていぶ21 森 喜代造 議員

1 太陽光発電システムの設置について (1)本市の取り組みと今後について 2 学校のいじめ対策について (1)いじめの実態把握について (2)学校の体制づくりについて (3)いじめ防止対策について

質問1(1) 市役所に太陽光発電設備が設置されているが、どこの場所で出力はどのくらいであるのか。又、民間への普及促進とメガソーラーの導入はどうか。

答弁1(1) 本庁舎屋上に出力30kW、その他数ヶ所に10kW、建設予定の平田野中学校に20kWを設置予定。今後は、公共施設の屋根貸しや不燃物リサイクルセンターの敷地の一部を活用したメガソーラーの設置に

ついでの調査検討に取り組み、地球温暖化対策の推進を図っていきたい。

質問2(1) 保護者からいじめの報告があった時の対応と、実態把握はどのようにされているのか。

答弁2(1) 5月アンケート調査で1306件のいじめがあり、全てに対応後15件をいじめと認知した。内容は、からかいや暴力行為が大半で10件は解決済。残り5件は人間関係の修復に向け、継続対応している。

質問2(2) 学校の指導について。

答弁2(2) アンケート調査結果により、個別に相談を実施し、訴えのあった全ての問題解決に取り組む。

質問2(3) 相談員の配置と学校地域の連携について。

答弁2(3) 相談窓口を開設し相談員を配置している。又、学校運営協議会を設置し連携協力を図っている。